

江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会
■編集・議会広報特別委員会
〒043-8560
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1
☎ [0139] 52-6713 (直通)

みんなでハッピーバースデー!!

育児サポートサークルキティは、毎週月曜日、円山の生きがい交流センターで活動しています。

キティには、毎週、役場の保健師も参加し、さまざまな相談に応じているほか、月1回誕生会を開催し、みんなで食事会も行っています。

町内には、かもめ保育園で月2回行っているキッズランド等、子育てを応援する場が設けられています。



平成27年 6月議会

—もくじ—

- ◇第2回定例会の主な内容・・・・・・・・・・ 2～3P
- ◇行政報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6P
- ◇第4回臨時会及び全員協議会・・・・・・・・ 7P
- ◇委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～9P
- ◇功労表彰、議会の動き・・・・・・・・・・・・ 10P

追分会館及び文化財施設の 町民無料化等について審議

平成27年6月定例会が6月10日に行われ、条例改正、予算補正など提案された案件を審議しました。追分会館条例の一部改正に修正議案を提出し可決、その他議案を原案どおり可決しました。

また、2人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。

6月10日
第2回定例会



パスポート制導入が決まった江差追分会館。
実演は1日3回行われているが、町民の入館は少ない。

江差追分会館条例の一部改正、町民無料化部分について修正議案

パスポート制に修正し、賛成多数で可決

第2回定例会では、各常任委員会の委員会報告、町長の行政報告、2議員の一般質問、報告、条例改正や補正予算等の議案7件、意見書等を審議しました。

条例改正の議案では、江差追分会館及び文化財施設の観覧料の町民無料化が提案されたものの、追分会館については無料化ではなくパスポート制に修正された議案が議員側から提出され、賛成多数で可決。文化財施設については、そのまま町民無料化の原案どおり可決されました。

また、補正予算では、社会保障・税番号制度（マイナンバー）関連や、コミュニティ助成（田沢町龍神山改修）、歴史文化基本構想策定等の事業費の補正が全会一致で可決しました。

予定通り、1日の会期で閉会しました。

2人の議員から発議 ※発議とは議事を議長に提出すること。

議員提案で修正された議案の内容

議案第1号 江差追分会館条例の一部を改正する条例（原案抜粋）

2 別表1の区分に掲げる観覧料について、江差町民は無料とする。



議案第1号 江差追分会館条例の一部を改正する条例に対する修正動議（原案抜粋）

「江差町民は無料とする」を「パスポート制（1家族、年1,000円）」に修正する。

この修正案は平成27年7月1日より施行し、平成28年3月31日に限り、その効力を失う。

※6月25日の第4回臨時会にて、この「平成27年7月1日」を「平成27年12月1日」にする議案が提出されました。詳しくは、7ページをご覧ください。



社会保障・税番号制の事業費を補正 繰越事業2億752万円

平成26年度一般会計繰越明許費繰越（繰越額上位3事業）

事業名	予算額	翌年度繰越額
◆江差中学校旧校舎解体	1億1,933万6千円	1億1,933万6千円
◆プレミアム商品券発行事業補助	1,850万円	1,850万円
◆町営住宅南が丘第2団地外壁等改修	1,208万円	1,208万円

平成27年度一般会計補正予算のおもな内容

補正事業名	予算額	財源内訳
◆社会保障・税番号制度に係るシステム整備等 ・行政の効率化や国民の利便性の向上等のため、10月から国民一人ひとりに12桁の個人番号（マイナンバー）が付与される制度。	2,138万9千円	国庫支出金他
◆観光振興事務（観光ポスター制作他） ・観光ポスターの作成経費他	251万3千円	全額一般財源
◆後期高齢者医療特別会計繰出（後期高齢者医療システム改修）	244万8千円	全額一般財源
◆「歴史文化基本構想」策定 ・歴史文化基本構想とは、地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉え、的確に把握し、文化財その周辺環境まで含め、総合的に保存・活用するための構想のこと。	226万6千円	国庫支出金他
◆コミュニティ助成 ・田沢町龍神山改修・保存伝承事業補助	150万円	全額その他特定財源



田沢町龍神山

〔審議状況〕

〔報告〕

◆平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書について
計14事業、総額2億752万円

◆江差町土地開発公社経営状況
土地開発公社の経営状況を報告。

〔条例改正〕

◆江差追分会館条例の一部改正
◆文化財建造物施設管理条例の一部改正
町民の観覧料を無料化する条例改正。一部修正案が可決し、追分会館は無料化でなくパスポート制で可決された。

〔補正予算〕

◆平成27年度一般会計補正予算
計13事業、総額8,809万2千円の減額補正。

◆平成27年度国民健康保険費特別会計補正予算
社会保障・税番号制度に係るシステム改修
162万4千円
(全額その他特定財源)

◆平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算
社会保障・税番号制度に係るシステム改修
94万9千円
(全額その他特定財源)

◆平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算
医療システム改修
244万8千円
(全額その他特定財源)

(全額その他特定財源)

◆平成27年度介護保険特別会計補正予算
社会保障・税番号制度に係るシステム改修
221万7千円
(全額その他特定財源)

◆議員発議
◆議員の派遣について
7月7日に開催される北海道議
長会主催研修会への議員派遣。

意見書を可決しました！

- ◆平成27年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就労保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- ◆道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◆地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書
- ◆認知症への取り組みの充実強化に関する意見書
- ◆農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書

行政報告



6月定例会で町長から行政報告された内容をお知らせします。

〔1〕平成26年度江差町各会計決算見込みについて

一般会計の決算見込みは、

歳入総額 63億548万1千円に対し

歳出総額 59億1,059万8千円

差引 3億9,488万3千円となった。

このうち、繰越明許財源として2,147万4千円を差し引いた実質収支が、3億7,340万9千円となった。このうち、1億8,670万5千円を財政調整基金に積立し、残額1億8,670万4千円は27年度に繰り越した。これを加えた財政調整基金の残高は23億1,056万9千円となった。

〔2〕平成26年度江差町水道事業会計決算概要について

営業収益で、2億8,585万6千円

営業費用で、2億9,168万4千円となり582万8千円の営業損益となる。

営業外収益は、1億6,966万6千円

営業外費用は、8,711万円となり、8,255万6千円の利益を生じ、営業損失と合わせ、7,672万8千円の経常利益となった。これに特別損失91万1千円を加え、当年度純利益は7,581万7千円となる。本決算より新会計制度が適用され、26年度末の欠損処理額は4億4,093万円となる。

〔3〕高規格幹線道路「木古内・江差間」整備促進協議会の新たな設立に向けた動きについて

檜山管内7町と木古内町、各町の議会、檜山南部の経済や産業団体等を中心に構成する「高規格幹線道路木古内・江差間整備促進協議会」を6月11日に設立する予定。

〔4〕普通救急車（ⅡB型）の運用廃止について

江差消防署において、高規格救急車の整備が決まり、普通救急車（ⅡB型）を5月末で廃止。

〔5〕江差町教育大綱の策定について

6月4日に江差町総合教育会議を開催し、「江差町教育推進計画～江差町の教育を進めるために」を「江差町の教育大綱」と定めた。今後、年2回程度、総合教育会議を開催し、教育委員会と連携を図りたい。

〔6〕寄附採納について

北前船建造計画実行委員会様から1,240万円の寄附の申し入れがあった。北前船に関する歴史・文化のほか、広く町全体のまちづくりに活用させて頂く。また、数年にわたって活用したいため、基金の造成も検討していきたい。

一議員が一般質問

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質すことができる唯一の場です。

◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

「毒蛾対策について」

町長 駆除対策を進めていきたい

小林 栄治 議員（日本共産党）

昨年の夏に江差町ほか南檜山地域において、毒蛾の大量発生があった。既に今年度も5月下旬から被害の報告も聞くが、現在の町内の発生状況、今後の対策は。

町長 昨年に引き続き大量発生している。今年度は町民の意識も高く、町内での発生確認は昨年より1カ月早い4月下旬が最初であり、これ以降5月末までの通報が約100件で、薬剤散布し、駆除した箇所は120箇所を越える。通報があった場合に即刻出向いて確認し、毒蛾の分布範囲に応じて職員が駆除に当たっている。時には町内会、自治会の協力を得ながら、これまでは直営で行ってきた。今後は、直営に加え、民間業者に一部委託を行いながら、毒蛾駆除対策を進めていきたい。

「地域包括ケアについて」

介護保険の新総合事業

は、各自治体で遅くとも

2017年4月からの

スタートとなる。要支援

サービスの市町村への移

管を巡っては、他の自治

体当局や介護事業所、N

POやボランティア団体

から危惧の声も少なくない。

総合事業の制定から

1年を経過したが、この

江差町に合った地域包括

ケアシステムの構築に向

けて、現時点でどのよう

な要支援サービスの構築

に向けた取り組みがされて

いるか。現時点での到達

は。

町長 これまで顔が見

える関係作りの事業や、

町民や町内会との意見交

換を実施し、地域の現状

把握、距離感を縮めてき

た。また、安心・安全な

町づくりの一つとして、高齢者の見守り、支え合いネットワーク、チームえさしの立ち上げ、増加している認知症の理解を深めるための講演会等を開催してきた。これらの取り組みを充実していくとともに、医療介護関係者と地域課題を一緒に考えていける多職種連携事業の開催、家族介護者を支える事業の定例化を進める。地域資源の洗い出し、高齢者の生活ニーズ等の把握を行い、必要なサービスの検討を進め始めたところであり、段階的に事業検討を展開し、29年4月にはスムーズな移行が出来るよう取り組む。

再 地域包括支援センターの体制強化は。

健康推進課長 26年度から保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種が地域包括ケアシステムの構築に向けて地域支援事業を展開してきた。今後は今以上に関係部署、関係機関との連携を強め、3職種がそ

れぞれの専門性を生かした、江差町に合った地域包括ケアシステムを構築して事業を展開していくよう強化したい。

再再 この地域で24時間看護やヘルパー体制の構築が求められてくる。地域包括ケアセンターの役割、既存の民間活力をどう誘導していくのか。

健康推進課長 地域では看護師等の専門職が非常に不足している状況で24時間体制の整備は厳しい状況にある。地域包括支援センターでは、多職

種連携事業として、顔が見える関係作りを進めてきたが、今年度はそれより拡大するとともに、地域課題をそれぞれの専門性を生かして一緒に考えていきたいと考え、グループワークを取り入れた研修会等やケアカフェを開催している。在宅生活を続けていくために必要な仕組みやその方法を今後テーマとして日頃から高齢者と関わっている専門職の方々と一緒に江差町に合った仕組みを考えていきたい。



毎月1回役場で行われている「ケア・カフェえさし」。医療介護福祉で働く人たちが集まり、好きな飲物を飲みながら、テーマに沿った会話を楽しんでいる。顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所を提供している。

「地方創生、新型交付金について」

町長 必要な財源の確保に努めたい
小野寺 真 議員（日本共産党）

江差町総合戦略での検討委員会は前回会議をやつて、策定はいつ頃か。新型交付金について、国に十分な財源確保を求めて頂きたい。

町長 町総合戦略検討委員会について、去る5月21日に1回目の会議を開催し、意見交換を行い、今後のスケジュール等を確認した。検討委員会は4回程度開催する予定。12月には人口ビジョンと総合戦略についてまとめ上げる予定。交付金は、課題や問題が多いものとなつており、北海道町村会等は、



5月21日に行われた第1回総合戦略検討委員会の様子。委員会は、産業、行政、教育、金融、労働、メディア等各界の委員で構成されている。江差町総合戦略策定に向けての意見提案や施策の検証等を進めていく。

財政課長 交付税総額の圧縮は地方創生に逆行するという要望もされている。地方6団体等がそういった要望を継続していくことになる。

「江差町水道事業ビジョン」の具体化について

広域化の連携協議は。業務委託の検討は。

施設や管路の耐震化計画は。

詳細な収支計画はいつになるか。水道料金を少しでも安くできないか。

町長 町内の北部地域や重要拠点施設等への安定した水道水の確保のため、近隣事業者との広域的な連携に向けた協議を進めたい。

業務委託範囲の拡大の検討については、今後、管路の維持管理等について、比較検討を行った上で効果的な運営を図りたい。

施設や管路の耐震化は、基幹管路の一部は耐震管を採用している。敷設替等において状況を勘案しながら適宜対応したい。施設の老朽化に伴い、休止も含め検討していく。非常に厳しい経営が続くが、水道料金は消費税の増税分を除き、現状維持できるように効率化に取り組んでいく。

再 施設等の計画は出さないのか。管路図のデジタル化は。

建設水道課長 水道施設の再構築計画、管路適正化計画は、広域連携に係る協議を踏まえて策定したい。

管路のデジタル化の費用は1,500万程。補助制度もなく財源的には非常に厳しい。当面は職員による図面の更新作業を適宜行っていく。

再 水道事業ビジョンを具体的に進め、連携、統廃合も含め、水道料金を少しでも安くする展望を町民に示すべき。

副町長 ビジョンを踏まえ、十分これから検討する。

「子ども・子育て支援事業について」

日明・水堀保育所の施設整備検討とあるが、統合して新しい保育所を作るのか。

病児・病後児保育事業の検討は。

小中学校の支援員配置は万全か。

児童公園遊具の計画的な整備は。

町長 日明・水堀保育園は、必要な修繕を行い運営している。整備計画は明示できる段階に至っていない。

病児・病後児保育は運営経費、体制等が多岐にわたる。検討課題として。児童公園遊具について

て、公園環境の改善は必要と考えるが、現在、新たな遊具を整備する具体的な計画はない。

教育長 特別な配慮が必要な児童生徒は増加傾向にある。現在、十分とはいかないまでも、支援員については対応出来ていると考えている。

再 中学校にも支援員の配置を図るべき。また支援員の研修はなされているか。

町全体の公園の押さえが必要では。

学校教育課長 特別の指導を要する児童生徒が増えた場合は支援員の増員も考えなければならぬ。支援員の研修は旅費を措置して参加している。

財政課長 公園は全体的に老朽化している。今年度中に全部把握していきたい。予算の範囲内で補修を進め、新たな遊具の設置は今のところ考えていない。

再 支援員の予算を確保すべき。

遊具はブランコくらい付けられないか。高齢者のために日よけのあるベンチは。必要に応じて増員する必要があるという外部評価の見解と同じであり、一層努力していきたい。

副町長 必要な場所がどう集約されるのかも含め、今年度中に検討する。

パスポート制

第4回臨時会

追分会館条例の一部改正を可決



6月25日に第4回臨時会が開会し、町長の行政報告、条例改正、各会計補正予算及び工事請負契約の締結について審議、全会一致で可決し、閉会しました。

〔報告〕 行政報告

国道227号線、尾山町付近の道路保護海岸擁壁の復旧工事について（7月上旬から着手し、来年3月まで）及び寄附採納（松山ハイヤーから新地町の土地の寄附）について報告。

〈ウインドパワー（株）に係る経営状況について〉
ウインドパワー（株）の経営状況を報告。

〔条例改正〕

◆半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

半島振興法の延長に伴う関係部分の改正。

〔補正予算〕 〔一般会計〕

◆介護保険特別会計繰出
11万2千円
（全額一般財源）
介護保険特別会計への繰出金。

◆江差中学校グラウンド等整備（財源更正）
（国庫支出金他）
国庫支出金の確定に伴う財源更正。

◆介護保険特別会計
（国庫支出金他）
89万6千円
高額の医療合算介護サービス費
給付対象者の増加等により予算に不足が生じたため補正。

◆工事請負契約の締結について
契約の目的…江差中学校グラウンド整備工事
契約の金額…9,158万4千円
契約の相手…前田・宏栄経常建設共同企業体

◆人事
◆農業委員の推薦について
議会推薦の農業委員は2人とし、次の者を推薦する。

・栗田 功氏（鹹川町）
・従二谷伸一氏（愛宕町）

◆議員発議

◆江差追分会館条例の一部改正について
入館対応（パスポート制）にあたり、十分な準備期間を設けるため改正する。

改正内容…附則中「平成27年7月1日」を「平成27年12月1日」に改める。

全員協議会を開催しました！

4月30日、5月22日、5月27日、6月25日にそれぞれ全員協議会が行われました。その内容についてお知らせします。

〈4月30日〉

・JR江差線跡地利用に関する基本方針について
駅舎周辺の跡地は、定住促進ゾーンとして公営住宅の建設を中心に活用を図っていく。

〈5月27日〉

・観光施設等の町民無料入館について
追分会館、山車会館、郡役所、中村家、関川家の5施設を町民に限って無料化にする条例改正を定例会で提案したい。

・公有地の売却促進に向けた制度概要について
公有地の売却促進に関する奨励制度について議会で提案したい。

〈6月25日〉

・公有地の売却促進について
特典付与の制度設計において、調整に時間を要することから臨時会の提案を見送ることとした。

・コンピュータの業務外使用について
町から派遣している南部松山衛生処理組合職員が組合所有のパソコンを使用し、私的に卑猥な画像にアクセスし、保存していたことがわかった。この職員は過去に2度同様の処分を受けており、厳正なる処分をすることとしている。

・農業委員会委員の推薦について
議定次第報告する。

・農業委員会委員の推薦について
議会から推薦する農業委員を次の2人とした。

・栗田 功氏
・従二谷伸一氏



JR江差駅跡地

〈5月22日〉

・江差町商店街活性化対策（江光ビル解体等）について
江光ビル解体に係る条件等が整い所要の経費を臨時会で要求する。

総務産業常任委員会「栽培漁業に関する事務調査」

(委員長：若山明廣)

平成26年第3回定例会で委員会を発足し、3回の会議を開催し、資料を基に担当課の説明を求めるとともに、5月11日にはひやま漁業協同組合江差支所の協力を頂き、ナマコの養殖施設（浮沈式いけす等）の現地視察を行った後、漁師の方と意見交換を行った。

調査した結果について、次のとおり意見を付して報告する。

〔意見〕

日本海漁業は水産資源が減少し、近年、厳しい漁業経営が続いている。ホッケやスケトウダラ資源の減少、イカなどの来遊不振もあって漁業生産は大きく低迷し、加えて磯焼けの進行や海獣による漁業被害の増大、漁業者の減少・高齢化等、漁業経営は急速に厳しさを増している状況にある。

江差町の漁業経営においても、これまでの回遊資源等に依存した漁業経営では厳しい状況に直面している。そのような中、漁業の現場では、今後の漁業経営を見据えた栽培漁業における多くの試みを行っている。その現場の声を聞き、議会、行政がその成果をどう確立し、次の世代に引き継いでいくのか、一次産業の振興は我々の責務でもある。次のとおりその対策を講ずるべきである。

1. 栽培漁業の振興について

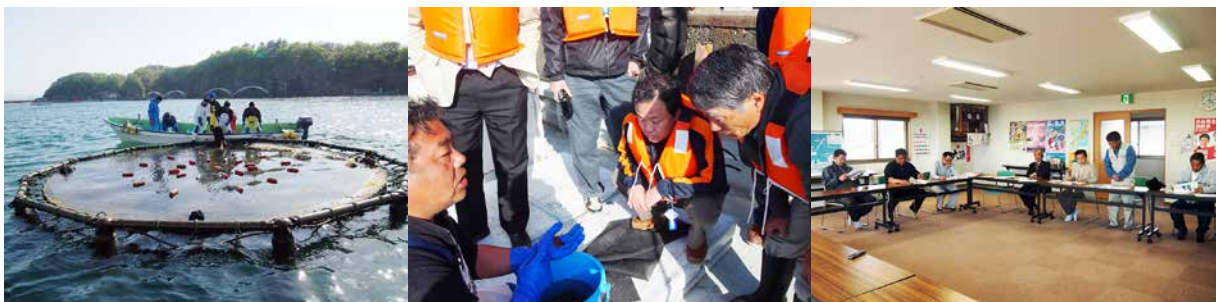
近年、近隣町においても、天然資源の枯渇が心配され、獲る漁業から育てる漁業へ転換している地域が多くなっている。町では、一次産業の振興は今後

のまちづくりを進めていく上で重要な課題となることから、ニシン、さけ・ます等の放流事業の推進や、資源回復のための禁漁措置など、様々な漁業振興等に取り組んでいる。

特に、ナマコについては、近年の中国経済の繁栄を背景に需要が増え、単価の急激な上昇から、江差地区においても、浅海漁業経営者を中心に新規従事（着業）者が増加し、平成22年度の漁獲においては、漁獲量47.5トン、漁獲高2億7千万円を記録し、漁業経営に大きく貢献している。このような中、新たな取り組みとして、つくり育てる養殖に着目し、若手漁業者を中心にナマコ養殖研究会を立ち上げ、更には北海道の補助金を活用し、浮沈式養殖いけすを整備し、試験に取り組んでいる。しかしながら、ナマコの種苗生産技術は確立されているものの、養殖技術の確立には至っておらず、各地区がこの取り組みに注目している。今後も積極的に支援、助成していくべきである。

栽培漁業全体の推進のため、北海道の補助金等を活用しながら、回遊魚種だけではない漁家経営の安定対策、次代を担う後継者育成のため、今後も対策を講じていかなければならない。

一次産業の振興は町づくりには欠かせないものである。その一方で、農漁業の経営は年々厳しさを増している。町として、地域に根ざし努力している農漁業者への支援を強化し、通年での生業が出来るよう一次産業全体の下支えを行いながら、経営安定対策を積極的に講ずるべきである。



(左) 浮沈式いけすのナマコへの餌やり

(中央) ナマコの実物を見ながら説明を受ける

(右) ひやま漁協江差支所内で漁師や漁協職員の方々と漁業現場の状況や今後の取り組みについて意見交換

社会文教常任委員会「養護老人ホームひのき荘の整備に関する事務調査」

(委員長：大門和子)

平成26年第4回定例会で委員会を発足し、4回の会議を開催し、資料を基に担当課の説明を求めるとともに、ひのき荘の施設設備と運営状況について現地視察を行い、さらには函館市の永楽荘及び七飯町の好日園の視察研修を実施し、調査を終了した。委員会としての報告の概要は次のとおり。

〔意見〕

町立養護老人ホーム「ひのき荘」は、昭和40年6月に開設以来、経済的理由や環境上の理由により居宅での生活が困難な高齢者の受け入れ施設として大きな役割を果たしてきた。

近年、社会的に孤立した高齢者など、介護ニーズ以外の面で困難を抱える高齢者が増加している実態にある。江差町としても、高齢者の尊厳保持と自立生活の支援を図るべく、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できる包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指し、「江差町地域包括支援センター」を核に高齢者福祉の施策の展開が行われている。しかし、依然として、高齢者の居住確保や高齢者虐待・高齢者福祉のセーフティネット構築等、時代の経過とともにニーズは変化・多様化しているが、高齢者福祉の維持や向上のためには必要な施設である。

現施設は、昭和48年及び昭和55年に増築され、昭和61年に開設当初の建物を改築し現在に至っているが、経年劣化による老朽化が激しく、居室定員や居室面積など現行基準と比較すると大幅に下回っている。また、災害対策や生活環境等の立地条件面においても好ましい状況下ではない。

運営面においても、視察先施設と比較した場合、入所者の衛生管理や生活支援員等専門職員の確保や育成など、施設整備とともに多くの課題を抱えている。

このため、老人福祉法に規定される養護老人ホームの目的、機能充実、更には喫緊の課題である住環境の改善のため、施設整備の改築計画を早急にま

め、一刻も早い改築整備を実現すべきである。

1. ひのき荘の早期移転改築について

現施設は、建築後、古い建物で40年以上が経過し、老朽化が激しく安全性や居住性を高めるためには住まいのハード面の整備が必要不可欠である。

介護を要する入所者、認知症や精神疾患等を有する入所者等に対しては、安心して生活できる居室環境を提供することが必要であるほか、現行基準では、個室化が原則であり当施設も早急に対応する必要がある。また、建物の老朽化によりバリアフリー化やエレベーターなど物理的な面でも支障が出ている。

こうした状況から、早急に建設地を含めた整備年度等の基本方針を議会・町民へ示す必要がある。

施設の運営方式検討にあたっては、都市部を中心に社会福祉法人へ経営を移管する傾向にあるが、町内の高齢者介護施設、医療機関との連携や役割分担、介護保険料などの町民負担、町の財政負担、入所者処遇などメリット・デメリットを考慮し、慎重に検討していく必要がある。

2. 入所者処遇について

移転改築まで複数年を要することから、入所者の安全・居住性の維持のため、必要最低限の改修は必要である。

また、現施設は、災害危険地区内にあることから防災計画に基づいた、入所者及び職員などへの避難訓練をはじめとした防災対策を確実に実行する必要がある。

近年、入所者のニーズが多様化する傾向にあり、従前の支援員の範疇^{はんちゆう}では対応できないケースも増えており、支援員に対する研修等を通じて、サービスの質を高めていく必要があるとともに、養護老人ホーム単体として考えるのではなく、地域包括支援センターや保健師などの専門職とも連携して推進していく必要がある。



(左) 養護老人ホーム永楽荘（函館市）の施設内部を見学

(中央) 養護老人ホーム好日園（七飯町）で施設の概要や課題等について聞き取り調査

(右) 好日園の施設内部を見学

議会の動き

- 4月17日
 - ◆社会文教常任委員会（出席6名）
 - ・養護老人ホームひのき荘の整備に関する事務調査について
 - ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・5月号議会だよりについて
- 4月23日
 - ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・5月号議会だよりについて
- 4月30日
 - ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・第2回臨時会について
 - ◆第2回臨時会（出席11名、欠席1名）
 - ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
 - ・J R江差線跡地利用に関する基本方針について
- 5月11日
 - ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・栽培漁業に関する事務調査現地視察
- 5月14日
 - ◆社会文教常任委員会（出席6名）
 - ・養護老人ホームひのき荘の整備に関する事務調査現地視察
- 5月18日
 - ◆南部桧山衛生処理組合議会臨時会
 - ◆江差町ほか2町学校給食組合議会臨時会
 - ◆檜山議長会
- 5月22日
 - ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・第2回定例会について
 - ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
 - ・江差町商店街活性化対策（江光ビル解体等）について
 - ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・栽培漁業に関する事務調査について
 - ◆社会文教常任委員会（出席6名）
 - ・養護老人ホームひのき荘の整備に関する事務調査について
 - ◆檜山広域行政組合議会臨時会
- 5月27日
 - ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・第3回臨時会について
 - ◆第3回臨時会（出席11名、欠席1名）
 - ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
 - ・観光施設等の町民無料入館について
 - ・公有地の売却促進に向けた制度概要について
- 6月2日
 - ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・第2回定例会について
- 6月10日
 - ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・第2回定例会について
 - ◆第2回定例会（出席12名）
- 6月17日
 - ◆北海道町村議会議長会総会
- 6月25日
 - ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・第4回臨時会について
 - ◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
 - ・公有地の売却促進について
 - ・コンピュータの業務外使用について
 - ・農業委員会委員の推薦について
 - ◆第4回臨時会（出席10名、欠席2名）
- 7月7日
 - ◆道議長会主催議員研修会（出席1名）
- 7月15日
 - ◆広報特別委員会（出席5名）
 - ・8月号議会だよりについて

北海道町村議会議長会から功労表彰

町村議会議長として7年以上在職し功労のあった打越東亜夫議長、町村議会議員として15年以上在職し功労のあった小笠原淳夫議員に対し、北海道町村議会議長会から表彰されました。



(上) 室井副議長から賞状を授与された打越議長
(右) 打越議長から賞状を授与された小笠原淳夫議員

北海道町村議会議長会主催 第35回町村議会広報コンクールで入選!

毎年行われている全道優良町村議会広報表彰。今年の応募総数は28点で、特選は沼田町議会、入選が3団体で大空町議会、仁木町議会、江差町議会が選ばれました。

江差町の議会だよりがコンクールで入選したのは平成4年に全国表彰で入選して以来のことです。



(上) 表彰された26年11月発行号。表紙等の子どもたちの写真が評価された。
(左) 打越議長から賞状及び広報をかたどった盾を授与された萩原広報特別委員長



新議員による初議会が開催されます!

7月26日に投開票が行われた町議会議員選挙において、当選した議員による初めての議会が、8月中旬に行われます。詳しい日程については、議会事務局（電話 52-6713）までお問い合わせください。

辞職されました!

小林栄治議員（日本共産党）から、7月13日付けで辞職願が提出され、同日付で議長が辞職を許可しました。江差町議会議員の任期は8月10日までのため、それまで在職議員は11人（定数12人）となります。